

投資事業評価調書(新規)

課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (課長補佐兼県道係長 吉村 文章)	内線	4362 (4376)
-----	-------------------	--------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事 業 名	事 業 区 間	総事業費	約2.5億円
		道路改築事業 (主)浜坂温泉線 <small>はまさかおんせん</small>	美方郡新温泉町用土～ 今岡 <small>みかたぐん しんおんせんちよう ようど いまおか</small>	内地補償費	0.05億円
		所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
		美方郡新温泉町用土～今岡	平成18年度	平成18年度	平成20年度
		事業目的	事業内容		
		<ul style="list-style-type: none"> 旧浜坂町と旧温泉町を結ぶ本路線は、北但馬地域の骨格を形成する国道178号と国道9号とを接続する南北幹線道路である。また緊急時における輸送活動を担う緊急輸送路に指定されている。 当該区間は幅員2車線が確保されているものの、本路線で唯一の歩道未整備区間であり、交通量に見合った道路幅員が不足していることから、交通安全上の危険な状態にある。 このため歩道設置を含めた現道拡幅整備により、合併した新温泉町間の地域交流支援、交通安全性の向上、緊急輸送路としての機能向上を図る。 	道路改良(現道拡幅) L = 570 m 【計画幅員】W = 6.0 (10.0) m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】W = 5.5 (6.5) m (2車線) 【計画交通量】 9,600 台/日 【現況交通量(H11セカス)】 9,334 台/日 【負担割合】県：10/10 (合併支援県道整備事業)		
価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全・安心の確保		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は歩道未整備区間であり急峻な山地と岸田川に挟まれた地形のうえ、山地側が内カーブとなる線形である。本路線は浜坂高校への通学路として使われているが、歩道がなく緩いカーブのため、自転車・自動車相互に見通しが悪く危険な状態である。このため自転車歩行者の通行幅員を確保するとともに、円滑な車両の通行を可能にする。 			
暮らしと交流を支える道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 町内は勿論のこと、新温泉町以南の但馬地域との地域間交流・連携の強化が図られ、将来的には本路線を經由し鳥取豊岡宮津自動車道(TTM)での隣接府県(鳥取県・京都府)への広域的な交流につながる。 			
地域二一ズ		<ul style="list-style-type: none"> 浜坂高校及び浜坂高校温泉分校への自転車による通学路であり、地元及び学校関係者から早期の改善要望が強い。または2007年4月に浜坂高校温泉分校が廃止・統合されるため、旧温泉町から浜坂高校への通学者が増えると予想される。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 1.5 			
代替性		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は急峻な山地と岸田川に挟まれた地形であり、バイパス整備は河川横断を伴い、長大橋を必要とするため不経済である。よって現道拡幅整備が最適であり、唯一の選択肢である。 			
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間には支障物件がほとんど無く、用地買収も田畑であるため早期の効果発現が図れる。 学校関係者、地元等の要望が強く、円滑な事業実施に向け協力体制が整っている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 地形の改変を最小限に留め、環境に配慮した多自然型護岸構造を採用し、環境への影響を最小限にする。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> (主)浜坂温泉線に残る唯一の歩道未設置区間で、安全・安心して通行できる道路整備が求められている。県民の安全で快適な生活環境の構築を図るため、日々の生活に支障となっている地域の生活道路を重点的に整備することから、平成18年度より事業着手する。 合併新町の発展のためにも、管内一の交通量である本路線の早期整備が急務である。 			